

シスプラチン腎毒性におけるトロンボモジュリンの役割を解明

トロンボモジュリンは、血管内で血液が過剰に固まることを阻害する作用があり、臨床では播種性血管内凝固症候群の治療薬として用いられています。この薬剤は炎症を抑え、細胞を保護する作用があることも近年注目されています。シスプラチンは、様々な固形腫瘍の治療に汎用されている抗がん剤ですが、副作用としてしばしば腎機能障害を引き起こすことが知られており、治療継続可否や生命予後に大きな影響を与えます。シスプラチンは、腎臓で細胞を傷つける活性酸素種の過剰産生を誘発し、腎障害を引き起こすことも知られています。このたび、本学の法医学教室の研究チームでは、マウスを使った実験により、トロンボモジュリンがこの活性酸素種の過剰産生を抑え、シスプラチン誘発性腎機能障害に対して保護的に作用することを明らかにしました。



▲記者発表する山本助教(左)と近藤教授(右)

青洲基金への寄附目録贈呈式を執り行いました



▲中尾直之理事長(左)と和歌山支社長 村尾和義 様(右)

和歌山県立医科大学では、「地域を支え、世界に挑む」をモットーに更なる飛躍を図るため、和歌山県立医科大学青洲基金を設置しております。この度、明治安田生命保険相互会社様からご寄附をいただくこととなり、2024年9月27日に贈呈式を執り行いました。

今回のご寄附は、明治安田生命保険相互会社様による2020年に開始した「地元の元気プロジェクト」の取組の一環として、従業員がゆかりのある地域を指定して行う募金に会社の拠出を上乘せる「私の地元応援募金」によるものであり、これまでに県内22自治体にご寄附をされています。

本学では、この度の寄附金を有効に活用するとともに、県民のさらなる健康増進に向け、包括連携協定の締結について、協議して参ります。

免疫力を高める食事のすすめ

感染症の原因となるウイルスは冬の低温・乾燥を好むものが多いです。日頃の食事を見直し、冬に備えましょう。

①

腸内環境(細菌)を整える

免疫細胞の70%は腸内に存在しています。発酵食品に含まれる善玉菌と、善玉菌のエサとなる食物繊維により腸内環境を整え、免疫力を高めることができます。

発酵食品 納豆、キムチ、ヨーグルト、チーズなど

食物繊維 葉物野菜、ごぼう、きのこ、ライ麦パンなど

②

毎食タンパク質を取り入れる

体をつくる材料になる他、免疫細胞の材料にもなります。3食に分けて摂ることで効率良く利用されます。

肉、魚、卵、豆腐、乳製品など



③

さまざまな栄養素をバランス良く

ビタミンA ウイルスの侵入経路である鼻粘膜の健康を維持(うなぎ、かぼちゃ、にんじんなど)

ビタミンC 抗酸化作用で体を酸化から守る(ブロッコリー、小松菜、菜の花、かんきつ類など)

ビタミンD 免疫細胞の活性化や腸粘膜のバリア機能に関わる(きのこ類、魚、乳製品など)

アントシアニン 免疫細胞IgAを増やし粘膜の健康を維持(黒豆、いんげん豆、ブルーベリーなど)

1つの成分にこだわらず、
様々な食品を3食で取り入れるようにしましょう。



この他にも免疫を高める食材として【ニンニク・生姜・緑茶(殺菌作用)】【レンコン・リンゴ(抗酸化作用)】【卵・鶏胸肉(体力維持)】【長芋(疲労回復)】などがあります。インスタントや加工食品は控え、季節の食材を摂りましょう。

がん患者・家族、県民のための公開講座のご案内

- 開催日時 令和7年3月1日(土) 13:00~15:00 ※受付12:30~
- 開催場所 和歌山県立図書館 メディアアートホール
- 講演 「ともに生き、支え合うコミュニティづくり」
- 講師 田村 恵子 氏 京都大学名誉教授
特定非営利活動法人ともいき京都代表
がん看護専門看護師
- 講演内容 がん治療の著しい進歩により多くのがん体験者が地域で生活する時代となり、各人が尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築が求められています。私たちは2015年7月より「NPO法人ともいき京都」を設立し、対話を通じた支え合いについて取り組んできました。今後の超高齢社会において、どうすれば病と共に生きる人々が対話を通してお互いの考えや価値に触れ、相手のことを慈しむコミュニティづくりができるのか、みなさまと共に考えたいと思います。
- 参加申込 患者支援センターまでご連絡を。
TEL.073-441-0778 FAX.073-441-0862 (FAXは専用紙にて受付)

参加無料



和歌山県立医科大学 がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン 市民公開講座

がん専門医療人と地域との連携における課題

- 開催日時 令和7年1月25日(土) ※開場12:30~
- 開催場所 和歌山県立医科大学 高度医療人育成センター 5階 大研修室
- 講演 「在宅医療におけるがん患者支援の現状と課題」
※講演後、地域との医療連携をテーマとしてシンポジウムも実施します。
- 参加申込 不要
- 参加方法 現地会場まで直接お越しください。

参加無料

Zoom
配信あり

Zoom参加の方は左のQRコードを読み込んでいただくか、Zoomアプリもしくはブラウザからご参加ください。
■ミーティングID: 951 0154 1797
■パスコード: 210742



- 講師 長尾 充子 先生
ユニバーサルケア株式会社
あるふぁ訪問看護ステーション
がん看護専門看護師

講演会の
詳細はこちら

【連絡先】和歌山県立医科大学 経理課
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1 TEL.073-441-0516 FAX.073-441-0706

マイナ保険証の利用について

2024年12月2日以降、現行の健康保険証は新たに発行されなくなり、マイナンバーカードの健康保険証利用(マイナ保険証)を基本とした仕組みに移行します。お手元の健康保険証は、移行後も最長1年間使用できますが、後期高齢者医療保険加入者の方の有効期限は、2025年7月31日となりますのでご注意ください。

マイナ保険証の利用により、患者さんの同意を得たうえで、医師等が過去のお薬情報、診療情報等を確認でき、治療に役立てることができます。また、高額療養費制度を利用する際の認定証の申請が不要になります。

なお、マイナンバーカードを取得していない方やマイナンバーカードの健康保険証利用登録を行っていない方などは、当分の間、これまでどおり保険診療を受けることができる資格確認書が交付されます。医療機関を受診する際は、マイナ保険証又は資格確認書をご持参ください。



掲示板

予約センター からの お知らせ

～診察予約のご案内(初めて受診される方へ)～

当院の外来受診は、原則として「診療情報提供書(紹介状)」をお持ちの方による「予約制」とさせていただきます。ご予約は、かかりつけの医療機関等からFAXでお申し込みください。患者さんからの電話による初診予約はお受けできませんので、ご了承ください。

■ご予約の流れ

- 1 かかりつけの医療機関等から当院所定の「紹介予約申込書」と「診療情報提供書(紹介状)」を予約センターあてにFAX送信してください。診療情報提供書がすぐにご用意できない場合は、予約申込日(かかりつけの医療機関等で予約を行った日)から概ね3日までを目途にFAX送信をお願いします。
- 2 予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関にFAX返信します。夜間・休日の場合は翌平日の対応になります。
- 3 予約当日は、予約票・診療情報提供書(紹介状)・画像データ(必要時)・マイナンバーカード(保険証)・診察券(受診歴のある方)・各種医療券・常用薬・お薬手帳を持参のうえ、各診療科外来受付に直接お越しください。
- 4 予約日の変更は、当院予約センターにご本人からのお電話で受け付けさせていただきます。ただし、検査予約の変更については、当院の代表番号(073-447-2300)から各診療科外来へ平日15:00～17:00におかけください。

予約センター(患者支援センター)

FAX(医療機関専用)・・・073-441-0805
【受付時間】月・火・水・金…9:00～19:00
木……………9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

TEL(患者さんから予約変更専用)・・・073-441-0489
【受付時間】月～金…8:30～16:00(土・日・祝日・年末年始を除く)
※「痔がんドック」及び「がん検診後の2次検査」の予約については、
上記予約変更専用番号にてご予約が可能です。

最新の医学・医療カンファランスのお知らせ

令和6年度第10回市民公開講座を下記の通り開催します。医学・医療に関する専門的知識は必要ありませんので、興味のある方は、ぜひご参加ください。

- 開催日 令和7年3月6日(木) 14:00～16:00
- 会場 本学 紀三井寺キャンパス 図書館棟3階 研修室
- 内容 講演Ⅰ 『運動のススメー元気に長生きするためにー』
講演Ⅱ 『がんと診断されたときからはじまる「緩和ケア」』

【申し込み・問い合わせ】

生涯研修センター
TEL.073-441-0789/FAX.073-441-0713
定員は先着30名まで
申し込み締切:令和7年2月13日(木)まで

患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

1. 個人として尊厳と人格が尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
2. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
3. 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
4. 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
5. 個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

患者さんへのお願い

当院では、さまざまな医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

1. 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
2. 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
3. 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
4. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
5. 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願いいたします。
6. 医師、看護職員、病院職員に対する謝礼、贈答品は固くお断りしています。

和歌山県立医科大学附属病院広報誌「まんだらげ」(vol.71)

2025年1月発行 発行/和歌山県立医科大学附属病院
〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300
FAX 073-441-0706

ホームページアドレス
<https://www.wakayama-med.ac.jp/hospital>
「まんだらげ」はホームページからもご覧いただけます。



— 外来受付時間 —

- 受付時間:午前8時50分～午前11時30分
- 再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)
- 休診日:土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
- ※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

次号発行は
2025年
4月です。